

横浜市都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」改定原案に対する意見の要旨と市の見解

No.	意見の要旨	件数	市の見解
1	3章「まちの要」づくりプランについて 緑区まちづくり計画ができて10年が経過したが、現状の駅周辺のまちの機能は衰えられたものではない。再開発するには多くの障害があると思うが押し進めるしかない。素晴らしい計画ができています。是非実行してほしい。	1件	4-3「緑区まちづくり計画の具体化と充実」に記載のとおり、まちづくりの具体化と実践を進めていきます。
2	高齢化が進む中、身近な買い物もバス等で行かなければならない地域がある。特に第1種低層住居専用地域においては顕著であり、一部用途地域を変更し、小売店を設置できるようにしてほしい。また診療所を整備するなど、地域密着型の住環境整備をお願いしたい。	1件	ご意見の趣旨は、「2-2-(1)市街地整備の方針(3)課題解決のための検討」に記載しています。
3	消防局の救急車では間に合わない場合は、大規模病院に救急車型ドクターカーを配備し対応してはどうか。医師や看護師は助成金で賄うなどできると良い。	1件	ドクターカーの運用については、既に消防局の要請を受けて、救急現場に医師等を派遣させる取組を行っている病院が市内では2か所あります。なお、横浜市では、医師・看護師に対する助成は行っていません。
4	ヒートポンプの技術は、省エネルギーや温暖化ガスの排出量削減、地球温暖化の対策として有効な手段であるため、コージェネレーション技術同様、一定規模の開発においては特に重要な方策であると考えます。そのため、P29, 17行目に下線部の追加をお願いしたい。 (修正案)「一定規模の開発においては、コージェネレーションシステムやヒートポンプ等の技術の導入、未利用エネルギーの利用等により効率のよいエネルギー供給を行うとともに、エネルギーの自立化を目指します。」	1件	大規模な開発時に、エネルギーの自立化に寄与しつつ、面的に導入できる技術の代表例としてコージェネレーションシステムを記載しています。
5	P29, 31行目に、幅員の狭い道路のみで構成された地区は、沿道住宅のセットバックにより拡幅とあるが、土地所有者の理解を得るのは難しいのではないかと。むしろ、必要なところへの初期消火箱の設置の働きかけや、防災力を高める指導を推進すべきである。 市は初期消火器具等整備費への補助額を上げたが、引上げではなく倍の消火箱を設置したほうが効果的と思う。	1件	初期消火箱の設置は、住宅地での初期消火力向上に有効と考えられるため、ご指摘を踏まえ初期消火箱等の設置について記述を追加しました。 補助額の引上げについては、これと合わせ予算も増額し、補助可能な件数を増やしています。また、離れた置場から移動して利用できるスタンドパイプ式初期消火器具を補助対象として追加したことから、今まで設置できなかった道路の狭い地域にも普及を行っています。
6	川和踏切の立体交差化について、「整備計画」が検討されていると思う。その内容を一般市民が知り得る方法で公表してほしい。	1件	踏切整備計画がまとまった段階で公表します。
7	川和踏切の立体交差化は、11年後の計画では遅すぎる。できるだけ早期の着手、完成を計画に反映するようお願いしたい。	1件	川和踏切を含む中山北山田線の未整備区間については、関係局区が連携を図り、現状の課題や今後の進め方、整備の方策など検討を行っています。
8	三保交差点での車、人の渋滞は朝、夕とも大変な状況であるため、三保踏切の立体交差化の検討を再考いただきたい。	1件	現在、本市では踏切の総合的な安全対策として、交通量、遮断時間、市民要望などを勘案して踏切整備計画を策定中です。 その中で、対策が必要であり、優先度が高い踏切については、計画的に安全対策を進めていきます。
9	中山駅南口再開発は、50年来の懸案であり実現を期待する。P50の②で、計画の具体化にあたり協議会の設置について記載されているが、一般区民が参加できることは記載されていない。中山駅南口再開発は多くの区民が関連する問題であるので、一般区民が参加できる体制か、意見を聞く受皿の設置を考慮してほしい。	1件	中山駅南口再開発については、現在地権者による準備組合で計画の検討が進められています。都市計画の手續に際しては、説明会の開催等広く区民の意見を伺いながら手續を進めます。
10	中山駅の地上階からJR横浜線の改札階まで、また改札からホームまでの、始発から終電まで使用できるエレベーター、エスカレーターを速やかな設置を要望する。駅ビルの開店時間のみ使用できるものはあるが不十分であり、ベビーカー利用者や障害者、お年寄りにとって大変不便で苦労している。 緑区内のJR4駅でそうした施設がないのは中山駅だけである。この件は、南口再開発と切り離しても実現可能と思う。是非計画に取り入れてほしい。	2件	市営地下鉄中山駅のエレベーター、連絡通路を使うことにより、バリアフリーでJR横浜線の改札、ホームに行くことができます。いただいたご意見については、鉄道事業者に伝えていきます。